

# 荒川地域内商工会景況調査報告書

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

ア 対象地区 荒川商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)  
ウ 回答企業数 30 事業所 (うち小規模事業者数 30 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

令和5年10月～令和6年3月  
(調査時点 令和6年2月1日)

### (3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	3	10.0%	3	10.0%
建設業	10	33.3%	10	33.3%
卸・小売業	8	26.7%	8	26.7%
サービス業	9	30.0%	9	30.0%
合計	30	100.0%	30	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

新型コロナウイルスが5類に移行し経済活動が活性化したことで売上や客単価が増加した一方、物価高騰の影響で仕入高や他経費も値上がりし利益の増加には至っていない。また、長引いた新型コロナウイルスによる需要の停滞や豪雨災害の影響により、資金繰りが悪化したとする事業者も多く、更に物価高騰が続くと予想されていることもあり今後の先行きに不安を感じていることが顕著に表れる結果となった。

### 【代表者の年齢と後継者の状況】

回答先企業の代表者の年齢は50代以下が7割以上を占めている。後継者の有無については、なしが7割という結果となった。

#### 代表者の年齢

30～40代	50代	60代	70代以上
9事業所	14事業所	2事業所	4事業所

#### 後継者の状況

後継者あり	後継者なし
9事業所	21事業所

### 【売上高】

売上高については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「増加」から「減少」を引いた状況が、前年同期比で30%、前期比で40%と回復傾向が見られた。しかし今後の見通しでは3%となっており、先行きに不安を感じている結果となった。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
16	7	7

#### 前期比

増加	不変	減少
16	10	4

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
8	15	7

### 【採算】

採算性については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「好転」から「悪化」を引いた状況が、前年同期比で、▲6%、前期比で▲10%とより悪化しており、今後の見通しでは▲53%となっており、先行きは厳しい状況が続くと予想する事業者が多い。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
5	18	7

#### 前期比

好転	不変	悪化
2	23	5

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
2	20	18

### 【仕入単価】

仕入単価については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「上昇」から「低下」を引いた状況が、前年同期比、70%、前期比で63%となっている。今後の見通しも56%となっており、仕入単価の上昇が顕著に現れる結果となった。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
23	5	2

#### 前期比

上昇	不変	低下
19	11	0

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
17	12	1

### 【販売（客）単価】

販売（客）単価については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「上昇」から「低下」を引いた状況が、前年同期比では13%となったが、前期比では▲3%、今後の見通しは▲13%と推移しており低下するという見方が多い結果となった。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
6	22	2

#### 前期比

上昇	不変	低下
5	23	6

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
3	26	7

### 【資金繰り】

資金繰りについては前年同期比、前期比、今後の見通しについて「好転」から「悪化」を引いた状況が、前年同期比、前期比共に▲13%であるが、今後の見通しが▲50%となっており、コロナや豪雨災害の影響もあると思われ大変厳しい予想がされている。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
0	26	4

#### 前期比

好転	不変	悪化
1	24	5

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
0	17	15

### 【雇用動向】

雇用動向については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「増加」から「減少」を引いた状況が、前年同期比で3%、前期比で▲3%、今後の見通しは不変と横ばいで推移しており、大幅な増減はないとする結果となった。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
1	29	0

#### 前期比

増加	不変	減少
2	29	3

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
0	30	0

### 【景況判断】

景況判断については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「好転」から「悪化」を引いた状況が前年同期比で23%と好調な景況感となったが、前期比で▲3%、今後の見通しでは▲70%であった。今後の状況を大変厳しいとする予想がされている。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
11	15	4

#### 前期比

好転	不変	悪化
5	21	4

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
3	14	24

### 【経営上の問題点】

「仕入単価の上昇」が17件（56.6%）と最も多く、次いで「人件費以外の経費の増加」が15件となっており、物価の上昇による経営への影響が色濃く出ていることから、景況感を不安視する結果となった要因であると考えられる。以下「需要の停滞」「店舗設備等の老朽化」が8件と続いた。